平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学校名	恵那市立長島小学校				
実 施 期 間	平成26年10月2日(木)~11月15日(土)				
実施概要	 ① 地域防災教室(地域の方々と) ② 森の健康診断(地域の方々と) ③ PTA読み聞かせ(保護者・地域) ④ 「PTAさわやかハイキング」(保護者と・地域の方々と) ⑤ 授業参観・情報モラル研修会(PTA家庭教育研)・緊急時帰宅訓練 				
実施内容	学習・取組の分 ■自然		■文化	□産業	■その他
	公開の方法 ■授業公開	□成果発表	□交流活動	■講演会	等
	■地域行事等参加 ■その他				
来校者数	保 護 者 地域関係者	4 8 9		計	530 人
実施 状 況	①地域防災教室 10月8日 5年生が、長島町まちづくり委員会安全推進部会の皆さん、消防団長島分団の皆さん、市防災情報課の皆さんにご指導していただき、防災に関わる学習を体験的に行った。本年度は煙道体験実施。②森の健康診断 10月2日 事前指導 10月15日、10月31日 「森の健康診断」は、矢作川水系森林ボランティア協議会、学校林管理委員会の方を講師に、5年生が座学・現地調査・体験を通じて、地域の森林が抱える課題(森林の多面的機能の低下、土砂災害防止機能や生物多様性保全など)を理解し、今後地域の山を守るには何が必要かを学んだ。③PTA読み聞かせ 10月27日~10月31日朝活動の時間を利用し、PTA母親委員及びボランティアの方に各学級で読み聞かせを行っていただいた。 ④PTA活動「さわやかハイキング」11月3日 PTA主催のハイキング。「親子で歩いて触れあい、もっとよく知ろう。」をテーマに地域講師から説明を受けながら親子で学校からリコー恵那の森までハイキングをした。また、自然物を利用したクラフトを行った。 ⑤授業参観・情報モラル研修会(PTA家庭教育研)・緊急時帰宅訓練10月15日 授業参観では、ひびきあいの日を兼ねて「道徳」の授業を意図的に公開し、人権に関わる内容や児童同士の関わりについて保護者の方に見ていただいた。東濃教育事務所 酒井統康先生による「保護者向け情報モラル」についてのご講話を頂き、わかりやすく最新の情報であり好評であった。訓練では、地震災害を想定して、運動場にて引渡を行った。兄弟を上の学年の子どもと一緒にして保護者に引き渡すことで、引渡を確実にスムーズに行うことができた。				

成果及び課題

〈成果〉

- ○「木を増やすこと=環境保護」と考えがちな児童らが、「木を伐ること が森を守ることになる」ことを学び、真の森林環境について考えること ができた。
- ○「読み聞かせ」では、保護者や地域のボランティアの方々にたくさん参加していただいた。児童らも「読み聞かせ」をとても楽しみにしている。
- ○今年度の「さわやかハイキング」では、出品したのれんコンテストを鑑賞しながらふるさとの良さを知る貴重な機会になったという感想をいただいた。長島町まちづくり委員会の皆さんにご協力いただき、旧跡の説明をしていただいた。PTAと地域が連携した活動とすることができた。
- ○道徳の授業公開では、主人公の気持ちを探る中で、自分たちの生活を振り返る姿を見ていただくことができた。
- ○東濃教育事務所 酒井統康先生による「保護者向け情報モラル」についてのご講話を頂き、わかりやすく最新の情報であり好評であった。
- ○児童帰宅訓練では、兄弟を一緒に固めて集まったことで引渡が早くできた。本当に災害が起きたときのために、日頃からの訓練が重要であることを保護者も納得できた。

〈課題〉

- P T A活動について、参加される保護者とそうでない方の二極化が懸念 される。多くの方に参加していただくために、内容のより一層の充実と 啓発の工夫,さらには地域の方々を巻き込む工夫が必要である。
- ●日頃家庭では話題にしづらい人権については,今後も映画会や講演会等 を企画し,児童のみでなく,保護者の意識向上も図りたい。



森の健康診断現地調査



引渡訓練